

TBアーカイブ推進・運営委員会 病理標本整理部会の活動報告について

結核予防会 総務部長 竹下 隆夫

当会の結核研究所には、戦前に中野療養所から寄贈された臓器標本をはじめとする剖検資料がプレハブ2棟分あり、その病理解析とデータ化（教材化）や永久的保管方法が課題であった。

昨年、これらのうち今後の研究にも役立つ重要な剖検・手術臓器、病理標本を選別し、ポリバケツにして200余りを残すこととし、その他は僧侶に来ていただき懇ろに供養をしたうえで廃棄した。そして、今回、これを研究に供するため、更に3分の1くらいの分量に整理し直し、貴重な標本についてはデジタルカメラで画像化して保存していく整理作業を始めている。

作業は、TBアーカイブ推進・運営委員会の病理標本整理部会（臓器ワーキングチーム）として岩井和郎顧問（結核研究所名誉所長）と青木俊明病理検査科科員によって進められているが、この作業には作業者へ

のホルマリン蒸気暴露による健康障害を防ぐ装置の設置を必須としている。

また、ホルマリン（ホルムアルデヒド）は特定化学物質で、労働基準監督署への届出が必要であり、当該部会では「プッシュプル型換気扇装置」を作業場所内に設置したうえで、三鷹労働基準監督署に届け出てから作業を開始している。

作業の場所として選定したのは結核研究所の裏手で、そこに6畳のプレハブ小屋を建て、その内部に上記換気扇装置を設置した。ただし、この作業には膨大な時間が必要で、終了予定は来年（平成23年）5～6月になるものと思われるが、TBアーカイブ推進・運営委員会にとっては懸案の整理再保存作業であり、岩井顧問、青木検査科員の労苦には誠心誠意感謝申し上げておきたい。

厚生労働省のCOPD検討会について

厚生労働省が「慢性閉塞性肺疾患（COPD）の予防・早期発見に関する検討会」を本年6月11日（金）、7月13日（火）、7月27日（火）、8月6日（金）の4回開催し、具体的な対策について所要の検討を行っている、10委員のうち本会関係者は工藤翔二複十字病院長（座長）、瀬戸山史郎鹿児島県民総合センター副理事長、

相澤久道久留米大学医学部内科学第一講座教授（本会COPD共同研究委員）の3名で、第2回では参考人として小倉剛大阪府支部長（本会COPD共同研究委員長）が「COPD質問票のスクリーニング効果について」意見提出を行うなど、本会も積極的に検討に貢献している。（文責：編集部）

「クリスマスのファンファーレ」結核予防チャリティーコンサートのご案内

日時：平成22年12月4日（土）16:30開場 【入場無料】
17:00開演

場所：大妻講堂
地下鉄半蔵門線「半蔵門駅」5番出口 徒歩5分
JR市ヶ谷 徒歩10分

問い合わせ先：資金課 03-3292-9287

出演：英国大使館合唱団
（指揮：スティーヴン・モーガン）

※ 英国大使館合唱団は、アマチュアですが、正式な音楽教育を受けた団員が多く、歌う喜びを通して、近隣の様々な福祉の一助となるべくボランティアで活動しております。

東京を代表する国際的な合唱団としての地位を確保し、メンバーは、広く世界から集まっています。年末の一時を心ゆくまでお楽しみください。

（事業部資金課）

多額のご寄付をくださった方々

〈指定寄附者〉（敬称略）

ヤンセンファーマ、鈴木守、大橋浩一、柳澤弘仁、池田吉昭、後藤千佳子、橋木岸子、伊申ノブ・拓也、岩本成子

〈複十字シール募金〉（敬称略）

新潟県一弥彦村住民福祉課、斉藤貞一、長谷川進、上村和子、まなべ整形外科クリニック、高瀬衛、佐々木雄幹、三栄製作所、堀医院、江部医院、大熊内科医院、喜多町診療所、

小飯塚医院、小出耳鼻咽喉科、たかき医院、庭野医院、ロイヤルハートクリニック、大平勇、小幡光一、富士タクシー、JA東日本くみあい飼料、金子靖、たけだ眼科医院、富樫医院、牧野庄三、メディス、正木医院、大沼恵美子、関口次郎、佐藤医院、下田渡辺医院、涌井医院、山田医院、堀田利雄、池淳一、外山迪子、コニカミノルタNC、早津内科医院、新潟臨港病院、弁天町共同ビル、木滑内科医院、はなの医院、渡辺医院、とみやま医院、浦川原診療所、小宮

山会計事務所、藤崎隆三、霜鳥内科医院、新潟県労働金庫、くろきクリニック、阿部久四郎、山本克巳、ナルサワコンサルタント、新潟県栄養士会、協和製作所、樋口医院、わたなべ医院、新潟県看護協会、T-ICE、登坂尚志、税理士法人小川会計、近藤堯、渋谷医院、森下組、双葉印刷、森下新一郎、柏崎市刈羽郡医師会、潟東クリニック、石栗吉枝、竹内クリニック、新宣、杉田医院、新潟興産、野村裕子、三島病院、塚田正幸、新潟市医師会、長岡赤十